

事務事業チェックシート

事務事業No 699 事業名 博物館施設維持管理事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		博物館費	
	大事業		博物館事業	
事項		博物館施設維持管理事業		

[長期総合計画]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	1	文化遺産の保護・継承
基本方針	2	文化遺産の公開・活用

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	博物館	額田 雅裕 (423-0003)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	博物館の維持管理と博物館の運営全般。	空調器機の維持管理・セキュリティーの確保・館内外の清掃等管理委託している。28年度についても、館運営を円滑に行うことを目的に維持管理に勤める。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。	館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。	館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。	館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。	館等建物の適切な維持管理を実施し、施設の故障等による臨時閉館の事態を避けるとともに、コーナー展示の展示替え等魅力ある常設展示に努める。

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	37,178	37,843	38,964	39,317	41,698	41,469	39,386		41,689	
伸び率 (%)	-	-	4.8%		7.0%		-5.5%		5.8%	
人件費	常勤職員	11,586	14,588	14,588	11,985	11,985	10,314	10,314	11,985	
	非常勤職員	5,714	5,661	5,661	5,655	5,655	4,962	4,962	5,655	
	小計	17,300	20,249	20,249	17,640	17,640	15,276	15,276	17,640	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	1,042	1,165	1,992	929	1,336	1,060	1,336		1,336	
一般財源 (税等)	36,136	36,678	36,972	38,248	40,362	40,409	40,362		40,362	
所要人数	常勤職員	1.56	1.95	1.95	1.59	1.59	1.39	1.39	1.59	
	非常勤職員	2.85	2.85	2.85	2.86	2.86	2.8	2.8	2.86	
主な予算内訳		管理委託料 23,120千円		光熱水費 9,230千円		所々修繕料 2,612千円				

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	施設の修繕箇所数	年度目標値	0			0	0	0	0
		実績値	10			8	8		
	単位 件	全体目標値							
		全体目標達成度							
成果指標	入館者数	年度目標値	12,000			12,000	12,000	12,000	12,000
		実績値	12,401			11,668	12,002		
	単位 人	全体目標値	11,000						
		全体目標達成度				103.3%	97.2%	100.0%	
施設の故障等による臨時閉館日数	年度目標値	0			0	0	0		
	実績値	0			0	0			
単位 日	全体目標値	0							
	全体目標達成度				100.0%	100.0%	100.0%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	博物館は昭和60年11月に開設以来改修やリニューアルといったハード面の改修を行っていない。歴史博物館という性格上様々な制約があるが、職員一丸となりクリアしている。しかし、博物館の心臓部ともいえる空調機器も開設以来改修されていない。冷暖房の時短化やこまめな節電により光熱水費を抑えることはできても機器の老朽化はとめることができない。当館は、デマンド監視システムを導入しているため重要な館蔵品が納められている特別収蔵庫の温度湿度を確保するため入館者がいる展示室以外の空調を停止することもしばしばあり、職員の努力により通常運営ができてきている。
「見直し」 「改善」案	空調機の老朽化により、近い将来適切な収蔵・展示環境を維持できない可能性があるため、計画的な改修を行う必要がある。